

葛西南 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ（必選）

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ（必選） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1～6 組：藤井 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術 2 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ（必選） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意思工巧し、個性豊かに創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意思工巧し、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	A 題材 観察力を身につけよう （鉛筆デッサン） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあわわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○鉛筆グラデーションの練習（明暗） ○鉛筆デッサン（質感・立体感・形） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品 ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあわわすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができる。	○	○	○	10
	B 題材 葛西南高校の校章をデザインしよう （ロゴデザイン） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあわわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○レタリングの練習 ○ロゴのデザイン（色彩・形） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、ケント紙、参考作品、定規、アクリル絵具等 ・書画カメラ		○		○	【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあわわすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができる。	○	○	○	12
2 学 期	C 題材 和の文様を生かしたレリーフをつくろう 【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深める。 ・和の文様についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあわわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとして	・指導事項 ○レリーフ（浮き彫り）の各技法の演習 ○レリーフのデザイン ・教材 ○鉛筆、消しゴム、板、参考作品、下描き用紙、トレーシングペーパー、カーボン紙、彫刻刀など ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深めることができる。 ・和の文様についての知識・理解を深めることができる。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあわわすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組んでいる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができる。	○	○	○	28

[illegible]